

神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



学校だより

No. 1 さいたま市立神田小学校
令和5年 4月10日 発行 Tel (853) 4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>



学校は 必要か

校長 米玉利 優子

お子様の御入学、御進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。本校は、65名の新入生を迎え、児童数398名、学級数15学級、たくさんのお出会いと希望の中で、令和5年度がスタートしました。

4月3日(月)、今年度の学校経営方針を私から教職員へ話す前に「なぜ学校が必要なのか」について、皆で考え、意見を出し合いました。社会で困難に出遭っても、力強く生き抜く力を育てる。自分の意見を持ち、より良いものを生み出すコミュニケーション力を育成する。自分がここにいてよいのだという、自己存在感を高める。多様な価値観があることを知り、違いを認め合える人間を育成する。自律するための基礎を学び、自立できる人間を育てる。3月の学校だよりに書かれていた、愛され、褒められ、人の役に立ち、人に必要とされるという4つの幸せをたくさん味わえる学級、学校にしたい。教職員一人ひとりが、学校の存在意義を感じ、子どもをどのように育てたいかを熱く語り合っている姿を見ながら、神田小学校は令和5年度も進化し続けると確信しました。同時に、子どもたち、保護者、地域の皆様、教職員…神田小学校に関わる全ての方が幸せであること、幸せになることを目標にして、どのように動くのか、校長としてしっかりと舵取りをしていかねばならないと気持ちを新たにしました。

自分のことだけでなく、相手のこと、周囲のことを想うには、心のゆとりが必要です。その心のゆとりをもつには、安心できる環境とそのままの自分を受け入れてくれる仲間が必要だと思います。神田小学校の教職員が子どもたちにとって、保護者や地域の皆様にとって、何でも相談できる存在であり、共に子どもを育てるよき仲間であると胸を張って言っていたように、努力してまいります。

新しいクラス、新しい先生、慣れない環境で戸惑う子どもがいるかもしれません。気になることはどんな小さなことでも担任にお知らせください。また、マスクを外すのは恥ずかしいという子どもも多い現状ですが、ふとした表情や顔のかすかな動きから人の気持ちを読み取る体験はとても大切です。御家庭でもマスクの着用について話題にしていけると幸いです。

今年度も、『すべては、神田の子の「希望をはぐくむために」』の合言葉のもと、子どもたちが生き生きと成長できるよう教職員一同、心を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様並びに地域の皆様には、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校教育目標

人間性豊かで21世紀をたくましく生きる神田の子
かしこく たくましく あたたかく

★目指す児童像★

- (知) 自ら判断し実践する子 → よく見て よく聴いて よく考えて 行動する子
(徳) 思いやりのある子 → 相手を理解し、違いを認め合い、互いに尊重する子
(体) 心身ともにたくましい子 → 様々なことに挑戦し、あきらめずにがんばる子

★目指す学校像★

- ・子どもも教師も 生き生きと学ぶ、活力のある学校
- ・保護者や地域と連携し、信頼される学校
- ・明るい笑顔と元気なあいさつがあふれる学校
- ・安全、安心できれいな学校